

# ① こうざき 議会だより

2023  
第135号  
9月1日

発行・神崎町議会 編集・議会広報編集特別委員会 ☎289-0292 千葉県香取郡神崎町神崎本宿163 ☎0478(72)2115



## 新議員決まる 現職 7名 新人 3名

8月3日、改選後初となる第3回臨時会が開かれ、議長に高柳智議員(2期)、副議長に大原秀雄議員(2期)が就任しました。

新議員の紹介	P2
新しい議会体制決まる	P3
議会構成	P4
町長所信表明	P5

第2回定例会	P6
意見書	P9
一般質問	P10
議会の動きなど	P14

# 新議員の紹介

## 「ウイズコロナの時代

## 10名で新たな出発」

(任期 令和5年8月1日から令和9年7月31日)

議席番号①

当選  
1回



池田孝幸  
藤の台5-7  
71歳

議席番号②

当選  
1回



鈴木 司  
神崎本宿930-3  
69歳

議席番号③

当選  
1回



椿浩一  
毛成958  
55歳

議席番号④

当選  
2回



大原秀雄  
郡1052-3  
70歳

議席番号⑥

当選  
2回



荒井葉一  
大貫102-1  
74歳

議席番号⑦

当選  
4回



鈴木 節子  
植房979-1  
73歳

議席番号⑤

当選  
2回



高柳 智  
神崎本宿214-1  
56歳

議席番号⑨

当選  
6回



高橋 正剛  
神崎神宿281-1  
61歳

議席番号⑩

当選  
8回



宝田 久元  
新300  
71歳

議席番号⑧

当選  
4回



石橋 伸一  
植房536  
67歳

# 新しい議会体制決まる

## ～第3回臨時会～

議長に 高柳 智  
副議長に 大原 秀雄



開票の様子

第3回臨時会（改選後の初議会）が8月3日に開催されました。はじめに、荒井葉二議員を臨時議長として議長の選挙が行われ、議長に高柳智議員が選出されました。続いて、副議長の選挙が行われ、副議長に大原秀雄議員が選出されました。

次に、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の委員、事務組合議会議員が選出され、町長から提案された、監査委員選任も同意されました。また、議会運営委員会、常任委員会等が開かれ、互選により委員長、副委員長が選出されました。



議長  
高柳 智

## 議長・副議長 就任のあいさつ



副議長  
大原 秀雄

私はこの度、皆様のご支持と信任をいただき、議長に就任いたしましたことに、心より感謝を申し上げます。もとより浅学非才ではありますが、この重責を担うことが出来る事に深い謙虚な気持ちでいっぱいです。

議長としての使命は、議会の円滑な運営と公正な討議を保つことです。私は、常に中立的で公正な立場を心がけ、全ての議員の声を尊重し、町民の皆様の利益を第一に考えることをお約束いたします。

そして、議会がより効果的な活動を行うために、議会の改革や透明性の向上などにスピード感をもって取り組み、町民の皆様が議会に対して、より信頼を寄せられるような組織づくりを進めてまいります所存です。

また、町民の皆様と更に連携し、町民の声を議場に反映させ、地域の課題に対する解決策を共に考えてゆくことが、私たちの使命であると心から信じています。何より、これらを達成するには皆様のご協力が不可欠です。

最後に、議長としての職責を果たすために全力を尽くし、真摯な姿勢で公務に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

残暑厳しい折、町民の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

この度、8月臨時会において議員各位のご推挙により副議長に就任させていただきました。前議長として高柳新議長を支え、副議長として恥じない議会運営に努めてまいります所存でございます。

神崎町をより住みよい安心安全の町づくりのため、町議会一丸となり新議長と力を合わせ神崎町の発展のため精進して参りたいと思ひます。

町民の皆様にはより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ就任のご挨拶とさせていただきます。

# 神崎町の議会構成

議長 高柳 智  
副議長 大原 秀雄

## 常任委員会

### 総務文教常任委員会

委員長 池田 孝幸  
副委員長 鈴木 司  
委員 荒井 葉一  
委員 鈴木 節子  
委員 高橋 正剛

(総務課・町民課・教育委員会に係る所掌事務に関する審査をします。)

### まちづくり厚生常任委員会

委員長 椿 浩一  
副委員長 石橋 伸一  
委員 大原 秀雄  
委員 高柳 智  
委員 宝田 久元

(まちづくり課・保健福祉課に係る所掌事務に関する審査をします。)

### 議会運営委員会

## 議会運営委員会

委員長 高橋 正剛  
副委員長 石橋 伸一  
委員 大原 秀雄  
委員 宝田 久元

(議会の円滑な運営と効率的な議事の進行を図るため、議会日程の調整など、議会運営全般について協議します。)

### 香取広域市町村圏事務組合議会議員

高柳 智 (議長)  
高橋 正剛

### 千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員

石橋 伸一

### 神崎町監査委員

荒井 葉一

## 特別委員会

### 議会広報編集特別委員会

委員長 鈴木 節子  
副委員長 鈴木 司  
委員 池田 孝幸  
委員 椿 浩一  
委員 荒井 葉一  
委員 大原 秀雄

(議会だよりの編集、発行などを行います。)



一般質問通告書は議会開会日の5日前から町ホームページで公開しています。  
議会事務局でも配布します。

# 椿 町長

## 第3回臨時会で所信表明

くすべては町のために、すべては町民のために、



今回の町長選挙におきまして、議員各位並びに町民の皆様の温かいご支援をいただき、引き続き町政を担わせていただくこととなりました。

改めて、課せられた使命と責任の重さを実感し、皆様の期待に応えるべく、粉骨碎身の思いで、町政運営にあたり、その職責を全うしていく所存です。

現在の社会情勢は、ウィズコロナ、アフターコロナの新しい日々の生活に変化する中、エネルギー・原材料価格の上昇や円安により、食料品や生活必需品など物価

の高騰が続いており、日常生活に多大な影響を及ぼしています。また、少子高齢化とそれに伴う人口減少・働き手不足の問題、近年多発する線状降水帯の発生や大型台風の到来などに対す

る防災対策など課題が山積されており、神崎町としてもこれらの課題を、国・県を含めた関係機関・団体と共有し、連携しながら、町民の皆さんと共に明るく活力あるまちづくりを進めてまいります。

そのために、まちづくりのコンセプト「生き生きワクワク 人も発酵するまち 神崎」を引き続き掲げ、その実現に向け、全ての分野を成長させるべく町政を推進してまいります。

まずは、「すべての世代に優しい福祉施策の充実」として、高齢者や障害をもった

方への支援に、買い物や通院に必要な交通手段として、福祉タクシー事業の更なる充実を図ります。また、子どもを産み、安心して育てている町を目指して、子育て世代に寄り添った形で、子育て支援センターの拡充を進め、すべての世代が健康で明るい生活を守るためにも、医療機関の誘致を検討してまいります。

二つ目に、「神崎インターチェンジ周辺開発整備の実現」に取組みます。町のシンボルとして、町のイメージの向上のため、圏央道パーキングエリアと直結した道の駅施設の改修事業を、着実に進めてまいります。各種アンケート調査でも要望の多かった、広々とした公園などを併せ持つハイウェイオアシスの実現に取組みます。

三つ目に、「発酵の里づくり」を進めて参ります。「発酵」をキーワードに情報発信を行いつつ、体験・学習施設の整備を検討して参ります。「発酵の里(こうざき)」のブランド力の向上により、

町民が誇りを持てる町づくりを進めて参ります。

四つ目に、「生活の質を高める環境の充実」として、長年の懸案である国道356号、郡踏切の安全通行、渋滞緩和のため千葉県とJR千葉支社への要請・協議を進め、早期の拡幅に努めます。また、各地区で進めている道路網の整備と公共交通などの充実により、生活の利便性の向上を図ります。町外からの移住を促すために、町の移住・定住支援策を更にアピールし、活気ある町づくりを進めます。

五つ目に、「地域産業の持続的発展支援」については、町の基幹産業である水田農業に対して、松崎地区の土地改良事業など農業基盤の整備を図るとともに、先進的なスマート農業の推進と更なる発展に努めます。

六つ目に、「緊急時対応の備えを充実」します。災害への対応として、危険箇所再点検と対策を実施し、緊急避難施設の備品等を更に充実し、不安の

解消と施設でのプライバシーや安全性の確保を図ります。

七つ目に、「教育の町神崎の推進」として、保護者の声を聴きながら教育問題を考えて参ります。学校給食の無償化は継続し、給食センターの運営についてもその方向性を検討して参ります。生涯学習イベントの促進により、保護者世代にも郷土愛の醸成を育めるよう進めます。「発酵マラソン大会」の公認ロードレース化を目指すほか、河川敷多目的広場の整備、利活用を推進します。

以上、所信の一端を申し上げますが、これ以外の事業にも全力で取り組み、「すべては町のために、すべては町民のために」の基本理念に基づき、町民のひとり一人の声を大切に、皆様の幸せと町の発展に尽くしてまいります。議員の皆様におかれましては、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。再度お願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

# 令和5年第2回定例会 一般会計補正予算など可決

第2回定例会を、5月31日開催しました。

会議の冒頭、今年度採用となった6名の新入職員の紹介の後、  
樺町長が町政についての行政報告がありました。

会議では、専決処分の承認、条例改正、固定資産評価員の同意、  
一般会計補正予算など6議案が審議され、全議案が原案のとおり承認、同意、可決されました。

また、教育関係の請願2件が採択となり、議員提出発議案で  
意見書2件が審議され、すべて可決されました。

一般質問は、4名の議員から、行政全般について活発な議論  
が交わされました。

## 議案等の概要

### ◎専決処分の承認

(神崎町税条例等の一部改正)

改正の内容は、地方税法等の一部改正に伴う関係条例の改正を行うもので、軽自動車税について、種別割のグリーン化特例を令和8年3月31日まで3年間延長するほか、環境性能割の税率区分を、新型コロナウイルス感染症の影響による半導体不足などの状況を踏まえ、令和5年12月末まで据え置く内容などになります。

### ◎専決処分の承認

令和5年度神崎町一般会計補正予算(第1号)

既定予算に2360万円を追加し、総額を33億3360万円とするものです。主な内容は、住民税非課税世帯の子育て世帯等に児童一人当たり5万円の給付金や6回目のコロナウイルスワクチン接種経費を補正するものです。

### ◎神崎町固定資産評価員の選任同意

固定資産評価員に、前町民課長の浅野憲治氏の後任

として、町民課長の澤田達也氏を選任するものです。

### ◎神崎町子ども・子育て会議設置条例の一部改正

「こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律」の施行により「子ども・子育て支援法」が改正され、条番号が変更となったため、本条例中の引用条文を改めるものです。

### ◎令和5年度神崎町

一般会計補正予算(第2号)

既定予算に8960万円を追加し、総額を34億2320万円とするものです。主な内容は、緊急生活支援事業として、町内事業所で利用できる生活支援商品券を発行し、地域経済の活性化と生活者の支援のため、6229万5千円を計上いたします。また、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業として、令和5年度住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を給付するため、1940万3千円を計上いたします。子ども医療費助成事業として、高校生までの医療費自己負担額(200円)を無償化するため、53万5千円を計上いたします。歳入の主なものは国からの地方創生臨時交付金と財政調整基金繰入金等です。

### ◎令和5年度神崎町

一般会計補正予算(第3号)

追加議案

既定予算に、370万



議会採決の様子



6名の新入職員

円を増額し、総額を34億2690万円とするものです。主な内容は、物価高騰の影響を踏まえ、小学校1年生から中学校3年生までを対象に1人につき1万円を給付する、子どもの成長応援臨時給付金370万円を計上いたしました。町内在住の対象児童・生徒数の見込みは、基準日である令和5年4月30日現在において310名となります。

なお、財源は全額千葉県からの給付金となります。

## 町長行政報告（要旨）

きました。

次にイベント関連事業です

新型コロナウイルスについては、感染症法上の位置づけが、5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。これにより、法律に基づいた外出自粛の要請などはなくなり、

感染対策は個人の判断に委ねられるなど、コロナ対策は大きな節目を迎えました。本町におきましても同日をもつて神崎町新型コロナウイルス感染症対策本部を廃止いたしました。しかし、新型コロナウイルス感染症が終息したわけではなく、町としては、「令和5年度のワクチン接種について、2回の接種を行うこととし、まずは高齢者など重症化リスクの高い方等を対象として春から夏にかけて接種、さらに全ての方を対象として秋から冬にかけて接種を行う。」という国の方針を踏まえ、高齢者等を対象とする集団接種を、5月30日から実施しており、そのための予算措置を専決処分させていただ

は、誠に喜ばしい限りであります。子どもたちにとつても思い出に残る記念式典となつたことと思います。

次に経済振興を図る支援対策関連ですが、コロナ禍に加え、円安とウクライナ情勢の影響等による物価高騰の生活支援策として、昨年度補正予算措置した「笑顔くらし応援券」につきまして、8月の先行配布分として、11月の65歳以上を対象とした追加配布分を併せた最終の利用状況は、中小加盟店専用券が約3810万円、大型店・全加盟店共通券が約3865万円で、全体の換金率は97・7%となりました。本事業に関しては、町民一人ひとりの生活支援と、消費喚起に伴う事業者支援を併せ持つ事業となり、相乗的な効果を生むものであります。今回新たに配分された地方創生臨時交付金に併せて、本議会の補正予算におきまして、町民1人1万円の商品券給付事業を新たに予算計上しております。

子育て世帯等を対象に児童1人あたり5万円を給付する「子育て世帯生活支援特別給付金」の実施を国が決定したことにより、予算の専決処分を行い、支給業務を進めております。農業関係にしましては、円安の影響から輸入飼料が高騰し、経営状況が著しく悪化している畜産農家に対し、持続可能な畜産経営のため、乳牛1頭あたり1万円の給付事業を補正予算計上しております。

おります。そして、建築関係ではレストラン棟の増築をはじめ、事務所移転や電気・設備等のインフラ関係の工事を実施する予定となっております。

次に、道の駅の経営状況につきましては、感染症が落ち着くに従い、徐々に来場者数は回復傾向となり、昨年は約80万人の来場があり、感染症拡大前の来場者数がようやく戻ってまいりました。この、道の駅改修の関係ですが、現在繰越明許費による道の駅北側進入路の造成工事が進んでいるところですが、本年度はPAと連結する水路ボックス新設工事をはじめとし、本格的な造成工事を実施するため、入札に向けた準備業務を行って

引き続き、道路改良事業関係、主要事業の町道3路線については、成田神崎線にしましては、昨年度埋蔵文化財確認調査及び流末排水整備工事を実施しました。本年度は、繰越明許費を利用した継続的な本線工事の実施と、植房農材館及び家屋移転補償に係る用地取得を予定しております。また、神宿松崎線・毛成堀籠線につきましては、引き続き地権者のご協力を頂きながら、用地取得を進めていく予定となっております。

きました。

次にイベント関連事業です

は、誠に喜ばしい限りであります。

子育て世帯等を対象に児童1人あたり5万円を給付する「子育て世帯生活支援特別給付金」の実施を国が決定したことにより、予算の専決処分を行い、支給業務を進めております。

引き続き、道路改良事業関係、主要事業の町道3路線については、成田神崎線にしましては、昨年度埋蔵文化財確認調査及び流末排水整備工事を実施しました。



切土工事が進む  
成田神崎線

## 補正予算の概要（議案第2号、議案第5号、追加議案第6号）

会計名	補正額	補正の主な内容
一般会計	(補正第1号) 2,360万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(民生費) 380万円 (住民税非課税世帯へ児童1人当たり5万円給付)</li> <li>・新型コロナウイルスワクチン接種事業(衛生費) 1,980万円 (6回目のワクチン集団接種経費)</li> </ul>
	(補正第2号) 8,960万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急生活支援事業(総務費) 6,230万円 (生活支援商品券を町民1人当たり1万円)</li> <li>・駅周辺管理事業(総務費) 117万円 (公衆トイレ洋式化工事)</li> <li>・わくわく西の城管理事業(総務費) 140万円</li> <li>・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業(民生費) 1,940万円 (住民税非課税世帯1世帯当たり3万円給付)</li> <li>・子ども医療費助成事業(衛生費) 54万円 (高校生までの医療費自己負担額200円の無償化)</li> <li>・畜産振興事業(農林水産業費) 190万円 (畜産飼料価格高騰緊急対策事業補助金)</li> </ul>
	(補正第3号) 370万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長応援臨時給付事業(民生費) 370万円 (小学校1年生から中学校3年生までを対象に1人当たり1万円給付)</li> </ul>

### 第2回定例会 審議結果

賛成=○ 反対=× 議長=—  
(議長は、採決に加わりません)

議案番号	議案名	議決結果	椿等	高柳智	荒井葉一	鈴木節子	木内直樹	石橋伸一	高橋正剛	石井正夫	宝田久元	大原秀雄
第1号	専決処分の承認を求めることについて（神崎町税条例等の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第2号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度神崎町一般会計補正予算（第1号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第3号	神崎町固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第4号	神崎町子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第5号	令和5年度神崎町一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
追加議案第6号	令和5年度神崎町一般会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第2号	「国における2024年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議案第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議案第2号	国における2024年度教育予算拡充に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—



# 請願2件を採択 意見書2件を可決



(国へ提出した意見書の要約)

採択された請願に基づき、議員発議で意見書が上程され、採決の結果、可決され国へ意見書を提出しました。

(提出者) 高柳 智議員ほか3名

## 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等とその水準の維持向上をめざして、子どもたちに無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものである。

政府は、国家財政の悪化から同制度を見直し、国庫負担金の減額や制度そのものの廃止も検討された経緯がある。

同制度の見直しは、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮され、また、廃止された場合、義務教育の水準に格差が生まれることは必至である。

よって、国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年5月31日

神崎町議会議長 大原 秀雄

内閣総理大臣 岸田 文雄 様  
財務大臣 鈴木 俊一 様  
文部科学大臣 永岡 桂子 様  
総務大臣 松本 剛明 様

(提出者) 高柳 智議員ほか3名

## 国における2024年度教育予算拡充に関する意見書

教育は、憲法・子どもの権利条約の精神に則り、日本の未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるという重要な使命を負っている。

そこで、以下の項目を中心に、予算の充実をしていただきたい。

- ・災害からの教育復興にかかわる予算の拡充を十分にはかること
- ・少人数学級や小学校高学年専科を実現するため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること
- ・保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること
- ・現在の経済状況を鑑み、就学援助や奨学金事業にかかわる予算をさらに拡充すること
- ・子どもたちが地域で活動できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること
- ・安全・安心で個別最適な学びを実現する施設環境の整備にむけ、バリアフリー化や、洋式・多目的トイレ、空調設備設置等の公立学校施設整備費を充実すること
- ・Society 5.0にむけて、デジタル時代にふさわしい質の高い教育を実現するため、GIGAスクール構想を推進し、学校現場における様々な課題に対応できる環境を整えること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年5月31日

神崎町議会議長 大原 秀雄

内閣総理大臣 岸田 文雄 様  
財務大臣 鈴木 俊一 様  
文部科学大臣 永岡 桂子 様  
総務大臣 松本 剛明 様

# 医療機関の減少対策を

高柳 智 議員



問 町内の医療機関数及び

診療科数は。

保健福祉課長 神崎クリニックと山田歯科医院の2カ所となります。

神崎クリニックの診療科は、内科、リウマチ・膠原病内科、整形外科の3つの診療科となり、現状は、高原院長が就任されて常勤ですが、院長以外の常勤医師は不在が続いており、県立佐原病院等に協力要請をしたところ、医師の派遣というのは難しいというところで、訪問診療や訪問看護での協力を現在いただいております。

問 今後の対策は。  
町長 高齢者の方が車も使



神崎クリニック

えなくなってくる状況で、身近にあるクリニックは大変有効な、安心できる場所だと思います。常勤のお医者さんがおられた頃は、本当に安心していたと思います。経営者が替わって、そういう状況がなかなか生まれてこないことで、大変心配しているところですよ。

高柳議員が言われたように、個人病院ですから、やっぱり

り利益が出ないとなかなか難しい部分もあります。経営方針はそれぞれあるということとです。しかし、町民が望んでいる中で、常勤医師については、我々も何らかのアプローチはしていくべきで、医師会を通しながらお願いしていきたいと思えます。県立佐原病院にもさらに協力をお願いして、訪問診療、訪問看護もさらなる充実をしていきたいと思えます。

## わくわく西の城の今後

問 利用状況は。

まちづくり課長 4月から

開館日を火曜日から金曜日の日中としており、卓球クラブが体育館で週2回、吹き矢クラブが視聴覚室で週1回、将棋クラブが和室で月1回、陶芸室では陶芸サークルが月3回、グラウンドはFC神崎がグラウンド整備を行いながら活動している状況です。また、宿泊棟1階は、障害児の放課デイ、研修棟1階のオリエンテーションルームとロビーはデイサービスとトレーニングジ

ム、応接室と相談室は歴史研究事業、研修棟2階は学童保育で使用しています。



今年度から町直営になったわくわく西の城

問 利用率は高いのか。

まちづくり課長 施設その

ものが大きいので、施設の一部を運用している状態です。実際、稼働していないスペースも多いので、使用できるスペースの有効活用でいえば、ある程度、利用できています。

問 スポーツ振興事業の活用は。

まちづくり課長 ポーツ振興事業は、ある程度大きな施設で、地域住民の競技大会

等が行える施設が対象なので、スポーツ振興事業の活用は考えていません。

## 水田農家対策を

問 水田農家給付金は。

まちづくり課長 小規模水田農家給付事業で、令和3年度と4年度に主食用米の作付面積10アール当たり3,000円を交付する水田農業緊急対策事業を実施しました。また今年度、まずは地方創生臨時交付金の割当ての状況と、もともとは米価が特に下落したことがスタートで、昨年は肥料の高騰で、価格に転嫁ができない状況でした。米価と肥料をはじめとした資材高騰の状況を鑑みながら、検討するように考えています。

## ☆その他の質問

- ・消防団の強化・合理化について
- ・発酵マロンについて
- ・災害対策について



側溝の改良について

問 蓋がない所は危険なので、水路に蓋をしてほしい。

まちづくり課長 部分的に転落防止のガードレールを設置しています。詳しくは区長要望でお願いします。



転落防止用のガードレール

問 町道には側溝を付けるのが標準である。ない所は直ちに設置してほしい。

まちづくり課長 四季の丘の調整池付近で確認しましたが、検討する上で区長からの要望を出してください。

問 町の中心部で水が流れない側溝があるという。町で調査して、町から香取土木事務所に申請してほしい。

まちづくり課長 国道356号の車道側溝に土砂と排水の滞留が見られ、大雨時に冠水を引き起こす可能性がある。香取土木事務所に申し入れを行います。

問 私道に側溝を設置する際に町から補助金は。

まちづくり課長 現在対象となっていないですが、今後検討していきます。

道路の改修について

問 ヤックストラックとガソリ

ンスタンドの間の交差点に方向のみでなく、普通の信号機として設置し直してほしい。大きな事故の起きる前に何とかすべき。町長自らが県に陳情に行してほしい。

町長 二つの方向の交通量が違うので、信号はつきにくいのかなど思っていました。不便といえば不便かと思えますので、再度県に要望していきま

問 国道356号から仲底踏切を通って高谷地区からバイパスに出る道が狭すぎて怖い。端も壊れかけていて、整備してほしい。専門家も改修する方法はあるというが。

まちづくり課長 狭いとは認識していますが、拡幅には地権者、耕作者の協力が必要であり、予算額も大きく、財政的には難しく、今後の検討を待つ状態です。

問 園部電気とアタゴの十字路のカーブミラーは2本とも同じ方向ではないか。

まちづくり課長 もう一方には目視しづらい状況なので、カーブミラーを設置します。

問 工業団地で歩道が見えないほど草が伸びている所には草刈りを町から指導は。

まちづくり課長 道路管理者の香取土木事務所へ除草要望をしている状況です。

循環バス及び停留所はもっと増やせないか

問 乗る人が少ないからバスの本数も少なくてよいという費用対効果の考え方は、変えるべき。バスを増やすメリットは

- ① 上り下りのJ.Rに接続できる。
- ② 公共交通が便利だとPRして移住者を呼べる。
- ③ 人の雇用が増える。
- ④ 多くのバスが走れば防犯対策にもなる。

まちづくり課長 現在の運行でそれほど不便はかけていません。福祉タクシーの利用も進めてください。



きらきら号

問 停留所間は何百メートルとか決まりはあるのか。

まちづくり課長 特に決まりはなく、使いやすい位置に設置しました。

町の医療機関の充実を

問 成田市や香取市に行けばと言われても、車がないと利用しづらいし、タクシーは高い。町から神崎クリニックに補助金を出してもっと診療科を増やしてほしいし、お医者さんも呼んでほしい。

保健福祉課長 送迎サービスを提供している町外の医療機関と協力関係を構築していきたいと思えます。補助金は財源の問題や町民の理解も必要となります。

# をう 町政 問 町長の4年間の 自己採点と今後の目論見

等員  
椿議



**問** 令和元年度町議会議員

となつて最後の壇上発言になります。この間、台風やコロナによつていろいろな事業が中止、縮小、減退という状況を受け、財政面での支出が減じられて4年間で財務改善がなされ、借金と基金のバランスが逆転し現在4億円のプラスとなつておりますが、椿町長の町政執行の自己採点を願いたい。100点満点で何点でしょう。

**町長**

大変難しい質問ですが、100点ではない。台風、コロナ等により「酒蔵まつり」が一度も開催できず残念でなりません。来年はなんとかしたい。そのようなことを加味す

るとやはり思ったようにはできなかった。総合点で70点がいいところかなと思つています。

**問** 町長の採点厳しいです

ね。本来なら副町長を選任し幾分でも軽減できたと思つていますが、町財政のため選任せず、また町財政の健全化。ズバリ90点をあげたいと思つます。椿町長の次期出馬はすでに表明済みですが、次の4年間どのようなことに重点を置いた町政運営を行うか「道の駅事業」を除いて腹づもりを聞かせて下さい。

**町長** 一番の問題は少子高齢

化、これが全ての構造的な問題につながっているように思つます。免許証の返納等、高齢者の足がない。循環バスの増便の提案もありましたが、私はずっと便利な「福祉タクシー」の充実化を考えております。

子育て政策では、子ども減

少や保育所に預けられない方への対策も必要になります。岡山県奈義町のような子育て支援的な雰囲気や、町全体にできている。そのような町施策を展開していきたい。また、障害者への福祉施策も必要と考えております。

**町振興** 一番の起点は「発

酵」というキーワードを中心にまちづくりを進めたい。「酒蔵まつり」、「発酵マラソン」等「発酵」の社会教育的な活動も必要と思つていま



発酵マラソン

町道3路線（県道成田神崎線・毛成堀籠線・神宿松崎線）も4年間に用地買収は大分進んだように思いますが、工事が目に見えるようになっていない。幹線道路とともに整備を着実に推進します。災害対策も重要です。地震、台風等の備え、利根川の越水時の対策も高齢者や障害者の方々への避難システムを作つていく必要があります。

**農業** についても、後継者不足が一番のポイントと思つます。農地の集積化と法人化を推進し支援していきたいと思つます。また畜産農家に対しても継続できる支援をしていきたいと思つています。

**問** 本年度新規採用職員6名の紹介がありました。椿町長が職員であった頃は、100名強の職員がおりましたが、現在の職員数は72名、更に現在副町長が不在となつておりますが、今後副町長の選任はどう考えていますか。

**町長** 副町長の件につきましては、やはり選任するべきだろうと思つています。財政

的にも改善されてきましたし、仕事が複雑化しており、ある程度仕事の分担もする必要があると思つています。

**町長給与の3割削減と議員報酬の改定について**

**問** 時限立法での町長及び特別職の給与削減が6月で終了となりますが、今後どのようにお考えでしょう。また、議員発議であります。議員報酬の改訂にはどのように思われませんか。いい人材を議会に送り、いい議会がいい町をつくる。好循環をするためにも議員報酬の改定の後押しを願いたい。

**町長** 私の給与の件ですが、二応まだ任期中の時限立法でありますので、その後また考えさせていただきます。議員報酬については、10年ほど前に議員発議でなされたものだと承知しています。議会で決議が必須となります。その方向がなされれば、私たちがやれることはやりたいと思つています。

をう  
町政  
問

# 今年の消防ポンプ操法大会 はどうなのか

久元 議員  
宝田 議



## マラソン大会は金がかかる

**問** 既に訓練に入っているが、現状で優勝する勢いなのか。大会は6月何日なのか。今まで何回優勝しているのか。県大会での最高成績はどのくらいか。町から補助金は、支部大会、県大会どのくらい出しているのか。

**総務課長** 日夜訓練に励んでいて、上々の仕上がり状況と伺っています。支部大会は6月24日です。支部大会で13回優勝して、県大会では6位が最高位でした。出場交付金として、支部大会28万円、県大会15万円を交付しています。

**問** 各自治体でも現在、盛んに行っていて町をPRしているが、本場に町のため、町民のためになっているのか疑問である。一般財源から803万9千円も支出され、町のイベントでは群を抜いて一番金が出ている。大会エントリーが2000人となっているが、実際走った選手は1700人余り、これはどうなのか。神崎町民は1500人位である。

**教育課長** 近隣だけでなく、北は宮城県、南は沖縄県まで広く全国各地から参加者が集まっていますので、神崎町をPRし、将来的投資となります。出場者の数ですが、申し込んで、当日、来なかつた人が300人あつたからです。

## 道の駅令和4年度決算は

**問** 売上げは好調のようで、株主総会が6月3日に行われるが、決算は出来ているのか。

**まちづくり課長** 売上額は8億2700万円で過去最高です。来場者数もコロナ前の令和元年は80万人でコロナ禍では70万に落ち込みましたが、昨年は80万に盛り返しました。

**問** 町長は、道の駅周辺にドックランや公園を造りたいと話していたが、向野寄りに土砂がいっぱい積んである土地は町が買ってあるのか。またその面積はどの位あるのか。

**町長** まだ何も決まつておりませんが、現在、土砂のストックヤードとして土地は、国が地主から借りているもので、PA工事が終了したら地主に返却されますので、あの土地を有効活用できないか考えていて、まだ、具体的にはありません。面積は2万3千㎡位です。

## 郡踏切どうなっているのか

**問** 7月工事着工と聞いているが、できるのか。また完成はいつごろか。

**まちづくり課長** 今年から踏切拡幅に支障となる構造物の撤去工事に着手すると伺っています。JRと香取土木事務所との協定で時間がかかつて当初計画より2カ月ほど遅れて、作業は9月からと聞いています。除去工事完成は令和7年1月から3月です。

## 町道3路線はあと4年で完成できるか

**問** 町道3路線はこの4年間で全部完成できるのか。

**まちづくり課長** 一つ完成できるのかは、国の補助金の配分に関わるところもあり、この時期に完成と申し上げるのは難しい状況です。

**問** 国庫金の問題だというが、毎年予算を組み、年度末に用地買収できなくて繰越金だとか流用して予算を流してしまうようなことを繰

り返しているようにも見える。土地が買えないのは、単価の問題ではないのか。

**まちづくり課長** 土地取得ができないのは、単価だけでなく、相続の問題があり、未相続用地は買えないため、長引いてしまっています。国庫金については、重点事業を優先させます。毛成堀籠線は配分が低率のため、配分の多い成田神崎線を優先させます。

## 少子化でスポーツ少年団の存続は

**問** スポーツ少年団は、いくつあるのか。少子化で選手集めが大変ではないか。中学生は入れないのか。

**教育課長** 本町では、野球、サッカー、バスケットボール、剣道の4団体があります。対象は小学生までで、中学生は部活動があるため、入っていません。特に、少年野球は現在11名で、低学年を入れないとチームが組めず、1回戦、2回戦での敗退が多いようです。

## 議会の動き

### 5 月

- 2日 神崎小学校創立150周年記念式典  
(大原議長・議員)
- 16日 発酵マラソン実行委員会(大原議長)
- 19日 町商工会通常総会(大原議長・荒井議員)
- 22日 香取広域市町村圏事務組合臨時議会  
(宝田議員)
- 23日 全国町村議会議長・副議長研修会  
(大原議長、椿副議長)
- 25日 議会運営委員会・全員協議会
- 26日 香取郡市町議会議長会総会(大原議長)
- 28日 第2回神崎発酵マラソン大会(大原議長)
- 29日 千葉県町村議会議長会定例会・第1回  
政務研究会(大原議長)
- 31日 第2回定例会

### 6 月

- 24日 千葉県消防協会香取支部ポンプ操  
法大会(椿副議長・高柳議員)

### 7 月

- 10日 成田空港周辺市町議会連絡協議  
会役員会・総会  
(大原議長・高柳議員・高橋議員・荒井議員)
- 20日 議会広報編集特別委員会
- 22日 千葉県消防操法大会  
(大原議長・椿副議長・高柳議員)
- 25日 千葉県後期高齢者広域連合全員協議会  
(高橋議員)

### 8 月

- 3日 第3回臨時議会(改選後の初議会)
- 4日 第73回利根川治水同盟治水大会
- 18日 議会広報編集特別委員会
- 25日 香取郡市町議会議員研修大会(議員)
- 30日 議会運営委員会・全員協議会

## 鈴木節子議員 木内直樹議員 石橋伸一議員 自治功労者表彰を受賞

5月29日、鈴木節子議員、木内直樹議員並びに石橋伸一議員が、多年にわたる議会活動を通じ、地方自治の進展、地域の振興発展に寄与されたことにより、千葉県町村議会議長会会長から自治功労者表彰を受けました。三名の議員は、平成23年の初当選以来11年間、町の発展に寄与されたことにより、今回の受賞となりました。



左から鈴木議員・木内議員・石橋議員

## 全国町村議会議長・副議長研修会

5月23日、東京国際フォーラムを会場に、全国町村議会議長・副議長研修会が開催され、大原議長、椿副議長が出席しました。当日は、大正大学社会学部教授の江藤俊昭氏から「町村議会の課題と今後の展望について」、NPO法人ブロードバンドスケー

ル協会理事の若宮正子氏から「町村こそデジタルを―住民のためのデジタル活用法―」、朝日新聞社コンテンツ編集本部次長の三島あずさ氏

から「地方議会とハラスメント」の3講演が行われ、町村議会をとりまく現状、課題について全国から集まった2000名余りの議長・副議長と共に研鑽を深めました。



手前から椿副議長・大原議長

## 編集後記

ロシアによるウクライナ軍事侵攻が始まってから、はや一年半が過ぎ、市民の犠牲者は90000人、国外避難が6000万人、国内避難が800万人にのぼっています。この暴挙を一日でも早く終わらせ、ウクライナの人々に平和をもたらせなければなりません。

一方で当町は、町長・町議会議員のダブル選挙を経て、新たなステージが始まっています。町の更なる発展・平和のために、みんなで協力していかなければならないと思います。

高柳 智

